

平成 22 年度 森林及び林業の動向(第 1 部 森林及び林業の動向)の構成と内容 (案)

【特集テーマを「木材の需要拡大に向けて」(仮題)とした趣旨】

- 我が国は、「森林・林業再生プラン」に掲げた「木材自給率50%」を目指して、路網の整備、森林施業の集約化等による安定供給体制の確立や効率的な加工・流通体制の整備を進めることにより、国産材の供給増加を図る方針。
- 他方、我が国の木材需要量は長期的に減少傾向。十分な木材需要が確保されなければ、木材の安定供給体制の確立や効率的な加工・流通体制の整備に支障を生ずるおそれ。国内の林業再生のためには、木材需要の拡大が不可欠。
- このため、平成22年度白書の特集では、公共建築物の木造化、木材のエネルギー利用、木材輸出に焦点を当てつつ、木材需要拡大に向けた取組を整理するとともに、今後の木材需要の拡大に向けた条件整備の必要性について記述する。

【各章の構成と内容】

I 木材の需要拡大に向けて(仮題) 1 木材の需要拡大の必要性 2 木材の需要拡大に向けたこれまでの取組 3 木材の需要拡大に向けた最近の主要取組 4 木材需要拡大への条件整備	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の需要拡大の必要性について記述。 ・住宅分野を中心に、これまでの需要拡大の取組について記述。 ・新たな取組として、公共建築物の木造化、木材のエネルギー利用、木材輸出について記述。 ・今後の需要拡大に向けた条件整備の必要性について記述。
II 地球温暖化対策と森林 1 低炭素社会の実現に向けた取組 2 京都議定書第1約束期間終了後の枠組み	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出の現状、森林吸収源対策や排出削減量等のクレジット化など、低炭素社会の実現に向けた取組について記述。 ・第1約束期間後の枠組みにおける森林の取扱いに関する交渉の状況について記述。
III 多様で健全な森林の整備・保全 1 多様で健全な森林の整備 2 国土の保全等の推進 3 国際的な取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の森林を巡る動向、間伐等の森林整備、生物多様性の保全、花粉発生源対策等について記述。また、国民参加による森林づくり活動の推進状況等について記述。 ・地域の安全・安心の確保を図る治山事業、森林病虫害、野生鳥獣被害対策の取組等を記述。 ・世界の森林資源の現状と持続可能な森林経営の推進に向けた国際貢献等について記述。
IV 林業・山村の活性化 1 林業の現状と課題 2 山村の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・林業経営の現状、森林組合をはじめとする林業事業者の状況、林業労働力の確保、労働災害等について記述。 ・山村の現状、山村の活性化対策等について記述。
V 林産物需給と木材産業 1 林産物需給の概況 2 木材産業の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・木材需給量・自給率・価格の動向について、国際的な資源問題も含めて記述。 ・住宅着工の動向、製材・合板・パルプ・チップの動向等について記述。
VI 「国民の森林」としての国有林野の取組 1 国有林野の役割 2 「国民の森林」としての管理経営 3 国有林野事業における改革の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公益的機能の発揮のための森林の保全・管理や、国民参加の森林づくりの推進など、国有林野が「国民の森林」としての役割を果たすための取組について記述。 ・国有林野事業における改革の取組状況について記述。